

SEIKEing

07

2025 秋冬

by 学生広報委員会 ZELKOVA

祝 四大学運動競技大会 総合



特集

- 文理の垣根を越えた
新「国際共創学部」をDig!
- 留学エピソード大公開!
in オーストラリア & 韓国

他団体・ 研究室紹介

- 成蹊大学応援指導部
チアリーダー部DELPHIS
- 理工学部酒井孝研究室

櫻祭で行われたチアリーダー部
DELPHISのパフォーマンスの1枚です。
DELPHISの魅力にクローズアップ!
詳しくは裏表紙 (P4) へ▶

学びが交わる成蹊大学へ。

2026年4月

国際共創学部 誕生！！

成蹊大学に、文理複眼の新学部が誕生！

今回は、学長・国際共創学部長（就任予定）・国際共創学部（着任予定）の先生お2人にお話を伺いました。人の営みそのものを学ぶ「国際日本学専攻」と、人と社会を取り巻く環境を探究する「環境サステナビリティ専攻」の2つの専攻。留学生との交流やフィールドワーク、幅広い授業を通して、学際的な視点から日本と世界を見つめます。

Q.成蹊大学にとって国際共創学部がどんな学部になることを期待しますか？

A. 森学長：期待することは2つあります。1つ目に、国際共創学部が加わることで、みなさんが所属する既存の学部とのシナジー効果をもたらしてほしいです。2つ目は、新しさを成蹊にもたらすことです。国際共創学部は、たくさんの留学生を受け入れ、今までの成蹊にないタイプの学生も入ってきます。そのような新しさが、シナジー効果につながると信じています。

Q.学部を越えて履修できる講義には、どのようなものがありますか？

A. 藤原先生：全学共通の英語で学ぶ授業を充実させていく予定です。学生の英語力に合わせて、全て英語の授業や英語のテキストで日本語と英語を交えた授業をやっていこうと考えています。平山先生：英語では日本語で考えるときとは異なり、英語で考えて表現する必要があります。頭の体操にもなって、違う視点から日本文化を考えるきっかけになると思います。

バラニャク平田先生：（英語科目に付随して）ぜひ留学制度を利用してほしいです。海外旅行とは全く異なり、国際的な環境で同年代の人たちと学ぶ経験になります。若いときに行った方が視野が広がっておすすめです。英語力は心配せず、挑戦してみてください。

Q.コンセプトにある、文理の複眼思考とはどんな学びですか？

A. 藤原先生：いろいろな学問領域の境界は「宝の山」で、すごく面白いことがあります。それを掘り当てていって、研究も教育も充実させて新しいものを作りたいという思いがあります。また、お互い良い意味で競い合って改めて自分のやっていることを意識するチャンスになると思います。

平山先生：それぞれの専門性があって、同じテーブルでひとつのテーマについて違う視点から語り合う貴重な機会になると思います。その機会を生かして新学部の名称通り、共に知を創ってほしいです。

バラニャク平田先生：学生には鋭い観察眼を養つてもらい、多角的いろいろ探る視点を身に着けてほしいと考えています。

Q.新学部設立にあたって、今成蹊大学に通う私たちの学びにどのような変化が起こるでしょうか？

A. 藤原先生：今ある副専攻の中に新学部の授業もいくつか入ってくるので、副専攻内の科目で選択肢が広がります。また、個性的な研究をされている先生もたくさんいらっしゃいます。私は地球物理学が専門ですが、日本美術の先生（平山先生）も同じ学部に一緒にいるような特徴のある学部になります。

平山先生：日本について英語で学ぶことは、知らなかった日本を知る機会になると思っています。

バラニャク平田先生：新学部の西1号館がちょっと遠いですがぜひ来てほしいです。（1階にラウンジスペースが作成され、自販機も置かれるようです！）



さらに詳しいインタビュー内容は
『Seikei Realife』でも紹介しています。

*2026夏号にて、新入生入学後の様子をお届けします！お楽しみに!!

～在校生へひとこと～



森学長

留学生も含め、今までにないような違ったタイプの仲間が新しく加わります。部活やサークルでの交流でも新しい学びや刺激が増えることでしょう。ぜひ仲良く高め合いで、活力のある成蹊にしてください。



藤原国際共創学部長
(就任予定)

完全に新しい学部ができるのは約50年ぶりです。どのような学部になるか注目しつつ、新しい仲間とお互い切磋琢磨してほしいと思います。自分自身の学部の学びを意識するチャンスになります。



バラニャク平田先生

他学部の学生はいつもウェルカムです。今年度の講義で文学部、経済学部、経営学部、EAGLEの学生と関わり、それぞれの鋭い視点や学ぶ意欲を感じました。来年以降も一緒に授業を受けていただければ嬉しいです。



平山先生

在学生の皆さんにとっても必ず新しい学びがあると思います。ぜひ新学部の講義を履修していただければ嬉しいです。様々な学部が集まり学際的な環境になることで、より深い学びになるとも思います。

こんなことがあつたんです！

成蹊生の留学ストーリー

Q:留学を通して、生活の中で変わったことは？

A: 朝型になりました！オーストラリアのお店は早いところだと17時には閉まってしまうので、自然と朝から活動するようになりました。学校の授業も朝から始まり、16時頃には終わる時間割だったので、規則正しい生活が身につきました。



Q:留学したからこそ得られたことは？
A:自信を持って話すことです。日本にいるとへりくだって話すことが多いですが、自信が溢れている人の方が話しかけてもらいややすく、友達にもなりやすいというのが分かり、自分もそう意識して動くようになりました。



文学部国際文化学科 韓国短期留学 C・Kさん



Q:留学先ではどのような生活・交流がありましたか？
A:大学では午前中は英語、午後は韓国語の授業を受けていました。昼食と放課後は、韓国人で同年代のアンバサダーさんたちと、地元の人にか知らないカフェやバーへ連れて行っていただきました。アンバサダーさんや学生寮のルームメイトとはその後日本でも交流があり、深い繋がりを持つことが出来ています！



Q:留学中の食事で印象に残っていることは？
A:自炊に初めて挑戦しました。スーパーで食材をまとめ買いして、一度に1週間分くらいの料理を作り置きしていました。また、友達とお互いの国の料理を作り合って食べることもあり、貴重な体験ができたとても楽しかったです。



Q:留学したきっかけは何ですか？

A:旅行よりも長く滞在でき、第二外国語で学んでいた韓国語を活かしたいと思ったからです。また、K-POPや韓国ドラマが好きで、現地の文化に触れてみたいという想いもありました。



Q:留学を通して得たものは？
A:留学先での2週間は毎日がとても楽しくて、24時間の中でもこんなにも充実した時間が過ごせることがありました！この経験を通して、もっと一日一日を大切にしようという気持ちが強くなりました。



学生広報委員会の活動記録

2025年8月2日～4日で実施されたオープンキャンパスにて、トークショーアイベントを開催しました！私たち学生広報委員会が主体となり、体育会本部、文化会本部、学生ボランティア本部Uni、櫻祭本部、新聞会と協力し、8ヶ月の期間をかけて実施した大掛かりな企画です。準備段階では他団体との調整や配布物の作成、当日はトークショーや個別相談の実施をしました。

来場した多くの方からご好評いただけた、大成功的イベントとなりました。当日の様子は、webサイト『Seikei Realife』をチェック！



他団体紹介

CHEERS!



私たちは火,水,金(17時半~20時半)土,日(9時~13時)の週5日、大学小体育館で練習をしています。演技練習以外にも、他の部活の応援、大会への出場、地域のイベントなど様々な活動を行っています!普段の練習ではイベントや大会に向けての演技練習をメインに、応援歌やダンスの技術向上にも励んでいます!

成蹊大學應援指導部
チアリーダー部
D.E.R.P.H.I.S



先輩と後輩の仲がとても良く、練習中も笑顔が絶えない温かい雰囲気です。お互いに励まし合いながら目標に向かって努力し、日々チーム全体で成長を感じられる環境です。

メンバー同士で「楽しい!」と感じるのは、どんなときですか?

一番楽しい瞬間はメンバーと息を合わせて新しい技を成功させたときです。沢山の方に見ていただける演技本番で技を成功させたときの達成感は忘れられません。また他の部活の応援に参加した際、勝利の瞬間を間近で見られることも心が動かされる場面のひとつです。仲間と心をひとつに声援を送り、その力がチームの勝利につながった瞬間に、心から「楽しい!」と感じることができます♪



研究室紹介

理 工 学 部
酒 井 孝 研 究 室
理 工 学 科
機 械 シ ス テ ム 専 攻

酒井孝教授

主に金属材料工学を扱い、全学部の教授の中でも数少ない成蹊大学リーディングリサーチャーに選ばれている先生です!シロクマとネギを愛し、学生が困ったときに助けてくれる先生で、研究室の学生からはお父さんみたいな存在と言われています。人の繋がりを大切にされている先生です。



研究室内がフリーアドレス!
学年関係なく研究のこともそれ以外のことも気軽に相談し合えます!



【教員室】



研究室がおしゃれでいつもピカピカ!!!



【ホットドッグランチの様子】

教授との距離が近い!



【教授の誕生日会】

研究室独自のイベントも多い!



活動内容

学部生と院生がグループになって、企業との研究課題を実施しています。金属表面の結晶状態を研究し、製品に活用できるような取り組みを行っています。過去には研究成果が実際の工場で活用されたこともあります!

また、配属された学生に会社見学会も行っています。「ネットの口コミで選んでほしくない」という教授の気持ちから、自分の目で、なるべく多くの会社を見られる機会を作りたいという取り組みです。

研究室サイト
はこちら!▶

新メンバー募集中!!

【募集対象】

成蹊大学1・2年生 (学部不問)

デザイナー・ライター・カメラマンをやってみたい人大歓迎!

未経験でも私たちが全力でサポートします。

記事の他にもSNSやブログの運営もしているので、興味のある方はぜひ!

【活動日】

毎週水曜日18:40~ 全体ミーティング

担当班ごとの制作に合わせて随時活動!

【応募方法】

①学部②学年③氏名④入会したい/興味のある活動

この4点を書いてこちらまでご連絡ください!

▶X:@officialzelkova / Instagram:official_zelkova

編集・発行

成蹊大学学生広報委員会・学長室総合企画課

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

TEL:0422-37-3531 FAX:0422-37-3883

Email:zelkova@jim.seikei.ac.jp

ご意見・ご感想など
総合企画課までお寄せください。

けーやんの日常

学生広報委員会公式キャラクター『けーやん』が4コマデビュー!

